



実際には、患者さんに、9つの質問に沿って、愛する家族や友人に言い残しておきたいことを語って頂きます。それがテープに録音され、その逐語録を基に、面接者が文書を作成します。できあがった文書は、ご本人の前で読み上げられ、チェックをして頂いた後、郵送ないし直接にお渡しします。予定は、下記の通りで、計1週間で終了します。

1 本療法の説明、および質問原案のお渡し。患者さんは、それを読んで、次回の録音面接で話す内容をイメージしておきます。

2 1の2、3日後に録音面接を行います。

3 2の2、3日後の面接で、面接者がまとめて書き上げた文書を朗読し、ご本人と共に確認、訂正を行います。

4 3での手直しされ清書された文書が、郵送ないし手渡しされます。

より多くの患者さんが、本療法に挑戦され、満足が得られることを願います。

ディグニティセラピーのすすめ あなたの大切な人に 手紙を書こう！

このプログラムは、終末期のがん患者さんたちに、これまでの人生を振り返り、自分にとって最も大切なことをあきらかにしたり、家族や周りの人々に一番憶えておいてほしいものについて話す機会を提供するものです。

カナダのウィニペグ市にあるマニトバ大学精神科教授、チョチノフ博士によって考案され、ディグニティセラピーと呼ばれています。「ディグニティ」とは「尊厳」という意味です。

ディグニティセラピーの9つの質問

- 1 あなたの人生において、特に、あなたが一番憶えていること、最も大切だと考えていることは、どんなことでしょうか？ あなたが一番生き生きしていたと思うのは、いつ頃ですか？
- 2 あなた自身について家族に知っておいてほしいこととか、家族に憶えておいてほしいことが、何か特別にありますか？
- 3 (家族としての役割、職業上の役割、そして地域での役割などで)あなたが人生において果たした役割のうち最も大切なものは、何でしょうか？ なぜそれはあなたにとって重要なのでしょうか？
- 4 あなたの最も重要な達成は、何でしょうか？ 何に一番誇りを感じていますか？
- 5 あなたが愛する人たちに言っておかなければならないと未だに感じていることとか、もう一度言っておきたいことが、ありますか？
- 6 愛する人たちに対するあなたの希望や夢は、どんなことでしょうか？
- 7 あなたが人生から学んだことで、他の人たちに伝えておきたいことは、どんなことですか？ (息子、娘、夫/妻、両親などに)残しておきたいアドバイスないし導きの言葉は、どんなものでしょう？
- 8 将来、家族の役に立つように、残しておきたい言葉ないし指示などはありますか？
- 9 この永久記録を作るにあたって、含めておきたいものが他にありますか？

お問い合わせは、各病棟の受け持ち看護師に。担当は、小森医師(精神腫瘍診療科)と段看護師(精神科リエゾン専門看護師)です。